



## 「出前あすなろ塾」を活用した 指導力アップ研修

白子町教育委員会教育課指導主事 なかだ ひろし 中田 宏



ベテランの退職に伴い若手教員が増える中、その育成が重要な課題となっている。また、児童生徒の減少で単学級が増え、先輩教員からアドバイスを受ける機会も減っている。そこで白子町では、平成21年度から小中連携協議会を立ち上げ、教員経験7年目以下の教員を対象として「白子町教職員指導力アップ研修」を実施し、学級経営や学習指導について学び、若手教員の資質・能力の向上のための取組を進めてきた。

平成29年度からは、千葉県総合教育センターの「出前あすなろ塾」を活用させていただいている。この研修は講師となる研究指導主事が町まで出張してくれるため、夏季休業中に町内の施設を会場として使用でき、多忙な受講者に好評である。専門的な知識と豊富な実践を踏まえた講義や演習は、学級経営や学習指導のポイントについて多くの示唆をいただける。

今年度も総合教育センターから2名の講師においでいただき「個を育てる学級づくりや生徒指導の機能を生かした分かる授業づくり」について研修させていただいた。受講者からは「普段の実践で改善できる点が見つかった」「自分の言動を振り返るきっかけになった」「6年目を迎えた今も自分の未熟さを感じた」等、自身の教育活動や授業を振り返る貴重な機会となった。白子町教育委員会では、この事業を有効に活用させていただき、教員の更なる資質向上を目指していきたいと考えている。

## 研修からの学び

成田市立公津の杜小学校教諭 やじま まきこ 矢島 槇子



GIGA スクール構想により、1人1台端末の教育環境が実現していく中で、時代の変化に対応した学びの充実について日々悩んでいたもので、県総合教育センターのICT活用研修に参加した。自ら希望して参加した研修ではあったが、研修の最後で模擬授業を行うことを知り、不安と心配が頭の中をよぎった。

研修では、「模擬授業は、完成された授業を発表する場ではありません。」という説明があった。そして、「まずは、失敗してもよいのでチャレンジしてみましょう。」という一言が、私の不安を消してくれた。受け身だった思考が、切り替わった瞬間だった。

研修のグループ討議を通して、他の先生方も同じ気持ちだということがわかって安心した。同じ思いをもった集団だったからこそ、共に悩み、相談し合い、それぞれの課題に向かっていった。できることが増え、チャレンジしてみたいという気持ちになった。

失敗しても大丈夫だという安心感と、これを成功へとつなげようとする意識が、授業への希望へとつながった。これは、子供たちに指導する上でも大切なことではないだろうか。教師として重要なことを再確認することができた。本研修を受講して、時代の変化に背を向けるのではなく、訪れる変化を受け入れていく柔軟性と、新しいことに挑戦するための大きな意欲の向上につなげることができた。